

グローバルREITウィークリー

2018年7月第2週号(2018年7月9日発行)

先週(2018年7月2日~7月6日)のグローバルREIT市場の動き

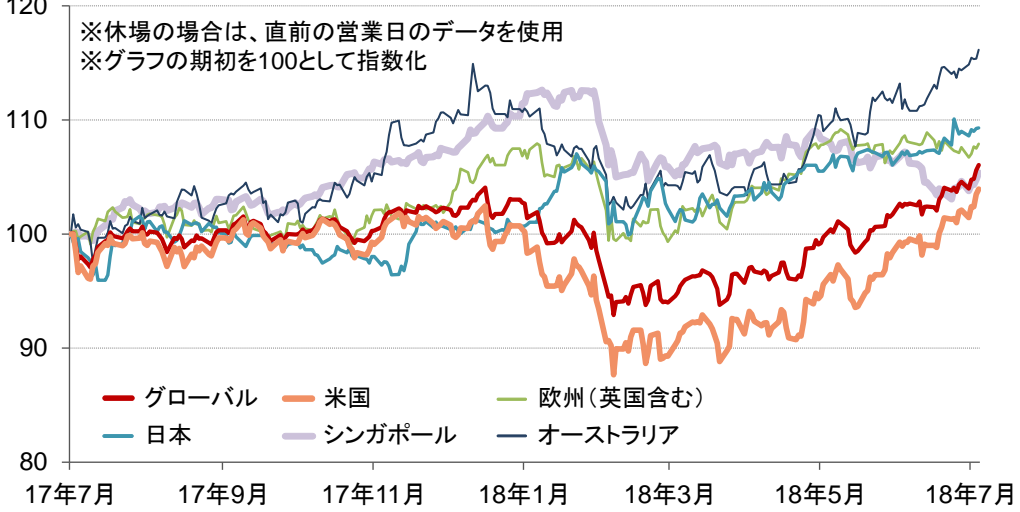
先週のグローバルREIT市場は、全体で、前週末比+1.4%となりました。

- 米国では、米中貿易摩擦懸念が高まったことや、5日に公表されたFOMC(連邦公開市場委員会)議事要旨で、早ければ2019年にも利上げを打ち切る可能性が示唆されたことなどを背景に、長期金利が低下基調となるなか、REITは堅調に推移しました。
- 欧州では、難民・移民問題で政権分裂が懸念されていたドイツで3日、難民流入抑制で合意に至ったことや、自動車向け対米貿易摩擦の緩和への期待感などから、株式市場が堅調に推移するなか、REITは小幅の値動きにとどまりました。
- 香港では、米FOMC議事要旨の内容が好感されたほか、不動産株の一角が買われるなか主力REITが上昇したことなどから、全体も堅調となりました。

【シンガポール】米不動産サービス大手によると、シンガポールのビジネス区グレードAオフィスビルは、2018年4-6月期に5期連続の賃料上昇が見込まれており、引き続き、同国オフィス市況の力強さがうかがえる状況となっています。

各国・地域のREIT価格の推移

期間: 2017年7月初~2018年7月6日



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

▶7月6日時点(1週間前=6月29日、3か月前=4月6日、6か月前=1月6日、1年前=2018年7月6日、3年前=2015年7月6日)なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

| 国・地域 | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|----------|----------|--------|------|------|------|------|
| | | 週間 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 |
| グローバル | 554.55 | 1.4 | 9.6 | 4.4 | 8.4 | 23.5 |
| 米国 | 1,276.95 | 1.8 | 12.5 | 5.6 | 7.6 | 24.6 |
| カナダ | 1,081.51 | 1.3 | 6.7 | 8.1 | 14.5 | 31.1 |
| 欧州(ユーロ圏) | 723.44 | 0.4 | 3.9 | ▲0.9 | 6.6 | 20.5 |
| 英国 | 92.05 | 0.1 | 3.4 | 2.2 | 10.7 | 8.3 |
| 日本 | 407.11 | 0.3 | 6.1 | 8.2 | 9.7 | 14.4 |
| 香港 | 835.13 | 2.4 | 9.2 | 0.8 | 23.3 | 72.2 |
| シンガポール | 597.50 | 0.7 | ▲1.6 | ▲6.2 | 5.3 | 21.2 |
| オーストラリア | 747.98 | 1.6 | 9.9 | 5.3 | 15.1 | 34.9 |

| 為替(対円) | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|------------|--------|--------|------|------|------|-------|
| | | 週間 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 |
| 米ドル | 110.47 | ▲0.3 | 3.3 | ▲2.3 | ▲2.4 | ▲9.9 |
| カナダ・ドル | 84.44 | 0.1 | 0.9 | ▲7.3 | ▲3.2 | ▲12.8 |
| ユーロ | 129.77 | 0.3 | ▲1.2 | ▲4.6 | 0.3 | ▲4.2 |
| 英ポンド | 146.74 | 0.3 | ▲2.6 | ▲4.4 | ▲0.1 | ▲23.3 |
| 香港ドル | 14.07 | ▲0.3 | 3.3 | ▲2.7 | ▲2.9 | ▲11.0 |
| シンガポール・ドル | 81.34 | 0.1 | 0.1 | ▲4.6 | ▲0.7 | ▲10.5 |
| オーストラリア・ドル | 82.07 | 0.1 | ▲0.1 | ▲7.7 | ▲4.4 | ▲10.7 |

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

▶当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。
各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日興アセットマネジメント

facebook twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。